

記入日：2019/11/18

R1年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	応用地質株式会社
ソフトウェア名/Ver.	OCTAS Modeler/Ver1.5
適用分野	地質・土質※
適用フェーズ	計画、調査、設計、施工、維持管理

国交省			ソフトウェアの対応状況
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	
1	必須項目	CIMモデルの作成・更新 <CIM導入ガイドライン>	<ul style="list-style-type: none"> ◆平野部の3次元地質・土質モデルを作成可能 ◆ボーリング・サーフェス・ソリッドモデル・ボクセルモデルの作成に対応 ◆複雑な地質・土質モデルはGEO-CREとの連携で作成可能
2		属性情報の付与 <CIM導入ガイドライン>	<ul style="list-style-type: none"> ◆外部属性の管理機能を搭載。順次機能追加予定 ◆内部属性は対応検討中
3		CIMモデルの照査 <BIM/CIM設計照査シートの運用ガイドライン>	◆一部対応（対応状況をサポートホームページで公開）
4		CIMモデルの納品 <CIM事業における成果品作成の手引き>	<ul style="list-style-type: none"> ◆独自のデータ管理機能を搭載 ◆納品用のGEOLOGICALフォルダ・データ作成機能を搭載予定
1		段階モデル確認書を活用したCIMモデルの品質確保 <段階モデル確認書>に基づきCIMモデルを共有し、その効果や課題について抽出する	◆対応検討中
2		情報共有システムを活用した関係者間における情報連携 情報共有システムの3次元データ表示機能等を活用し、関係者間の情報連携を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ◆フリーの3次元ビューア（OCTAS Manager）を用いて3次元地質・土質モデルの情報共有が可能 ◆3次元データ・モデルおよび属性情報と格納先は公開しているので、外部ソフトウェアより利活用可能

国交省			
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	ソフトウェアの対応状況
3	後工程における活用を前提とする属性情報の付与	CIMガイドラインに固執せず、事業ごとの特性から追加すべき属性情報を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ◆属性管理機能を利用し、3次元地質・土質モデル作成に用いた地盤情報の品質を記録することが可能 ◆地質リスク情報を3次元地質・土質モデル上に3Dアノテーションとして表示可能
4	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	「設計施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方」を参考に施工ステップに沿ったCIMモデルを構築する	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査・設計・施工のフェーズに応じて、段階的に3次元地質・土質モデルの信頼性を向上させることは可能 ◆利便性の向上に向けた対応を検討中
5	CIMモデルを活用した工事費の算出	CIMモデルから数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行う	◆土量管理機能を開発中
6	契約図書としての機能を具備するCIMモデルの構築	契約図書としての要件を備えたCIMモデルを作成し、3次元モデルと2次元図面との整合性について確認する	◆OCTAS Managerを用いた3次元地質・土質モデルの納品により、入力データ・3次元モデル・地質リスク情報を一体で継承し、設計図書を支援することが可能
7	CIMモデルを活用した効率的な照査	3次元モデルと属性情報に基づき、効率的な照査を実施する	◆3次元CADデータとの重ね合わせや断面作成機能を用いてモデル形状の照査が可能
8	施工段階におけるCIMモデルの効率的な活用方策の検討	CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行い、出来型管理を検討、実施する	<ul style="list-style-type: none"> ◆施工情報を用いて3次元地質・土質モデルの更新に対応可能 ◆複雑な地質モデルはGEO-CREと連携して対応可能
			<p>その他、補足等</p> <p>※土質モデルは広義の地盤モデルに含まれるものとする</p>